

# 化学工学専攻

## I. 志望区分

志望区分	研究内容	対応する教育プログラム	
		連携教育プログラム (融合工学コース)	連携教育プログラム (高度工学コース)
1	<b>化学工学基礎講座 ソフトマター工学分野</b> 複雑流体・ソフトマターの移動現象や非平衡プロセスに関する基礎的研究、特に、計算機シミュレーションを用いた高分子液体・コロイド分散系・ベシクル・細胞組織などに関する基礎研究	応用力学分野  物質機能・変換科学分野	化学工学専攻の定める教育プログラムに従う
2	<b>化学工学基礎講座 界面制御工学分野</b> 界面制御工学、ナノ拘束空間工学、特に、分子やイオンのナノ細孔空間内特有の挙動と構造、吸着場や液膜場によるナノ粒子群の構造形成と制御、秩序相・固相発生過程の基礎研究	応用力学分野  物質機能・変換科学分野	
3	<b>化学工学基礎講座 反応工学分野</b> 反応工学、材料反応工学、電気化学反応工学、特に、気相材料合成反応と燃料電池等の電気化学反応プロセスのモデリング、劣質炭素資源の新しい転換プロセスの開発、選択水素化触媒反応プロセスの開発	物質機能・変換科学分野	
4	<b>化学システム工学講座 分離工学分野</b> 分離工学、吸着工学、乾燥工学、特に、電界、高周波電磁場、放電を利用した新規分離法・材料プロセスの開発、ナノ材料の合成・エネルギー分野への応用	物質機能・変換科学分野	
5	<b>化学システム工学講座 エネルギープロセス工学分野</b> エネルギープロセス工学、材料工学、電子工学、光工学、ナノテクノロジー、特に、自然・再生可能エネルギー生成、高効率エネルギー利用など、資源および環境問題の解決につながる技術の開発	応用力学分野  物質機能・変換科学分野	
6	<b>化学システム工学講座 材料プロセス工学分野</b> 材料プロセス工学、特に微粒子、ファイバー、多孔質材料の創製、構造制御と機能発現、材料プロセス工学に基づいた新規食品の開発	物質機能・変換科学分野	
7	<b>化学システム工学講座 プロセスシステム工学分野</b> プロセスシンセシス、プロセスの最適設計・操作、プロセス制御・監視・データ解析、マイクロ化学プラントの最適設計・操作に関する研究	応用力学分野  物質機能・変換科学分野	
8	<b>化学システム工学講座 環境プロセス工学分野</b> 環境プロセス工学、マイクロ化学操作論、環境反応工学、特に、バイオマスの新規転換法の開発、マイクロリアクターの開発と設計・操作論、生分解性プラスチックの分解挙動解析に関する研究	物質機能・変換科学分野	
10	<b>化学システム工学講座 環境安全工学分野</b> 環境安全工学、低品位資源転換工学、特に廃棄物の安全で効率的な有効利用法の開発に関する研究、二酸化炭素の排出抑制のためのプロセス開発	物質機能・変換科学分野	
11	<b>化学工学基礎講座 動的界面化学</b> 音や液流、磁場といった非平衡状態がもたらす界面現象についての研究、特に身近に存在する実在系の安定性を決定づける表面間力の制御。得られた知見に基づく様々な機能性薄膜の創成に関する研究	物質機能・変換科学分野	
12	<b>化学工学基礎講座 移動現象論分野</b> 分子・エネルギー・情報の流れに関する移動現象論、特に、アクティブマターの運動と構造、分子モーターのエネルギー論、細胞と細胞組織の合成生物学など、自律的に流れを制御する新規材料の基礎研究	応用力学分野  物質機能・変換科学分野	

詳しい研究内容については、ホームページ <http://www.ch.t.kyoto-u.ac.jp/ja> を参照

## II. 募集人員

2025 年度 10 月期入学：

化学工学専攻 若干名

2026 年度 4 月期入学：

化学工学専攻 7 名

※入学時期を 2025 年度 10 月期あるいは 2026 年度 4 月期のいずれかから選択すること。出願後は、入学時期の変更はできないので、事前に受入予定教員とよく相談のうえ入学時期を決定すること。インターネット出願システム上で、2025 年度 10 月期入学と 2026 年度 4 月期入学のいずれかを選択すること。

## III. 出願資格

募集要項 Part A 「II-i 出願資格」参照

## IV. 学力検査日程

一般（社会人特別選抜を含む）

8 月 4 日（月）	10：00～12：00 英語	13：00～16：00 専門科目
8 月 5 日（火）	9：00～ 研究経過・計画の発表及び口頭試問	

## V. 入学試験詳細

(1) 一般（社会人特別選抜を含む）

[英語]（100 点）

長文読解、英文和訳、和文英訳など。和英・英和辞書使用可。留学生においては、自国語と英語、自国語と日本語の辞書使用可。

電子辞書は翻訳機能のないものに限り使用を認める。ただし、TOEIC あるいは TOEFL 等の成績により、英語試験を免除することがある。

[専門科目]（200 点）

数学、物理化学、反応工学、移動現象、単位操作、プロセスシステム工学・プロセス制御の 6 科目から 2 科目を選択して解答。数学の出題範囲は、微分積分学、線形代数学、常微分方程式、ベクトル解析、複素解析、偏微分方程式とする。ただし、書類選考の上、上記専門科目試験を免除することがある。

[研究経過・計画の発表及び口頭試問]（300 点）

修士論文または研究経過の内容と将来の展望に関する 20 分の発表と、発表内容や基礎学力についての 10 分程度の口頭試問。

(2) 有資格者及び合格者決定方法

一般、社会人特別選抜ともに、総得点が配点合計の 6 割以上の者を有資格者とし、有資格者の中から、（総得点／配点合計）の値に基づき合格者を決定する。なお、英語、専門科目を免除した場合は、その配点を配点合計から差し引く。

## VI. 出願要領

(1) 入学後の教育プログラムおよび志望区分の選択

VII. VIII. を参照し、インターネット出願システムの志望情報入力画面で志望順位ごとに教育プログラムおよび志望区分を選択すること。

なお、本専攻への出願にあたっては、志望区分の指導予定教員と事前に密な連絡を取り、志望する連携プログラムおよび研究計画について合意を得ておくこと。

詳しい研究内容については、ホームページ <http://www.ch.t.kyoto-u.ac.jp/ja> を参照すること。

(2) 事前コンタクト

事前コンタクトにおいては、指導予定教員が志願者の希望する学習・研究内容と、指導予定教員の研究活動との整合性の有無を判断する。さらに、博士後期課程入学後の学習・研究活動を円滑に進めるため、志願者と指導予定教員のディスカッションを通じて研究計画を出願前に明確化する。

(3) 発表指導

志願者が口頭試問の発表指導を指導予定教員から受けることを妨げない。発表指導においては、口頭試問において志願者が説明しようとしている研究計画が、事前コンタクトで確認した内容と一致するように指導する。

(4) 専門科目の選択

専門科目で選択する 2 科目をインターネット出願システムの志望情報入力画面で選択すること。

(5) TOEIC または TOEFL 等の成績証明書の提出（英語試験の免除を希望する場合）

TOEIC の場合は公式認定証（Official Score Certificate）の原本もしくは TOEIC のデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）を印刷したもの、TOEFL\*の場合は受験者成績証明書（「Test Taker Score Report」）の原本、その他の場合は正式な証明書のいずれも原本（コピーや受験生自身で印刷したものは不可）を、A クラスター事務区教務掛に提出すること。TOEFL の My Best Score は受け付けない。

免除の可否判断には時間がかかるので、十分余裕を持って（願書提出時に）提出すること。

\* TOEFL iBT (Special) Home Edition 含む

## VII. 入学後の教育プログラムの選択

博士後期課程入学後には 3 種類の教育プログラムが準備されている。本専攻の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。

- (a) 連携教育プログラム 融合工学コース（応用力学分野）
- (b) 連携教育プログラム 融合工学コース（物質機能・変換科学分野）
- (c) 連携教育プログラム 高度工学コース（化学工学専攻）

いずれのプログラムを履修するかは、受験者の志望と入試成績に応じて決定する。

詳細については、「Ⅰ. 志望区分」を参照のこと。また、教育プログラムの内容については、ホームページ（<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69>）及び、次項の「Ⅷ. 教育プログラムの内容について」を参照すること。

なお、連携プログラムの志望選択にあたっては、Ⅵ. (1) 項で述べたとおり、志望区分の指導予定教員に、事前に密な連絡を取っておくこと。教員が不明の場合やその他不明なことがあれば、「Ⅸ. その他」の入試担当に問い合わせること。

## VIII. 教育プログラムの内容について（高度工学コース）

化学工学は、基礎科学の成果をより迅速に、かつ環境に配慮しながら生産活動や社会福祉として結実するための多様な要求に対応するための基盤工学です。高度工学コースでは、高度の教養と人格を備えた研究者・高級技術者として独立して活動するための実践的訓練を行うことにより、高度な専門知識と柔軟な思考力および豊かな想像力を修得させます。より具体的には、研究テーマの選定、研究の計画、実施、発表の過程を可能な限り自主的に進めさせるとともに、常に世界的に評価され得る創造的な研究を遂行するよう指導します。さらに、他専攻、他研究科、国外研究機関との共同研究の機会を積極的に与え、協調能力、提案能力、発表能力、国際性を身につけさせます。また TA のほか、学部の特設研究の指導などにも参加させ、研究指導者としての能力をも身につけさせます。これらを通じて、高度な研究遂行能力をもった国際的に活躍できる研究者、新たな化学工学の基盤を創製し得る研究者、さらには研究をマネジメントし得る指導者を育成します。

## IX. その他

- ・専門科目の試験では電卓を貸与する。
- ・研究成果・計画の発表及び口頭試問については、A4 判、両面 4 頁にまとめた資料（論文形式、図・表を含む）を 11 部用意し、試験当日試験会場で配付すること。発表は液晶プロジェクターを使用を行い、その際に使用するパソコンは、各自準備すること。

## 試験会場

桂キャンパス内で実施する。試験室については、試験 1 週間前までに当専攻から連絡する。

## 携帯電話について

携帯電話は必ず電源を切り、かばん等に入れ所定の場所におくこと。試験中、携帯電話を時計として使用することも禁止する。試験中に携帯電話等の通信機器の所持が判明した場合は、不正行為と見なされる場合がある。なお、時計（通信機能のないものに限る）については各自で用意すること。

## 問合せ先・連絡先

〒615-8510 京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科 A クラスター事務区教務掛（化学工学専攻）

電 話：075-383-2077

E-Mail：090kakyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

参 照：http://www.ch.t.kyoto-u.ac.jp/ja

※The Japanese language version of the information provides here is to be given precedence.

## Department of Chemical Engineering

### I. Preferred Research Area

Research area no.	Research descriptions	Applicable courses	
		Integrated Master's-Doctoral Program	
		Interdisciplinary Engineering Course	Advanced Engineering Course
1	Soft Matter Engineering: Chemical Engineering Fundamentals Fundamental research on transport phenomena of complex fluids and soft matters, and non-equilibrium process, especially the fundamental research on polymer liquids, colloidal dispersion, vesicle, and cellular structures using computer simulations	Applied Mechanics Materials Engineering and Chemistry	According to the course program established by the Department of Chemical Engineering
2	Surface Control Engineering: Chemical Engineering Fundamentals Surface Control Engineering, Engineering for Nanoscale Confined Space, especially behaviors and structures specific to the nanoporous spaces of molecules and ions, structure formation and control of nanoparticle aggregate in adsorption field or within wetting films, and fundamental study on ordered-phase/solid-phase generation	Applied Mechanics Materials Engineering and Chemistry	
3	Chemical Reaction Engineering: Chemical Engineering Fundamentals Reaction Engineering, Material Reaction Engineering, and Electrochemical Reaction Engineering, especially modelling by analyses on the mechanism of reaction for the synthesis of materials via chemical-vapor deposition and development of materials, modelling of electrochemical reaction, and development of new conversion processes of carbonaceous resources	Materials Engineering and Chemistry	
4	Separation Engineering: Chemical Systems Engineering Separation Engineering, Adsorption Technology, Drying Technology, especially development of methods for separation and material processes utilizing electric fields, high frequency electromagnetic field, and electric discharge, and syntheses and energy applications of nano materials	Materials Engineering and Chemistry	
5	Energy Process Engineering: Chemical Systems Engineering Energy Process Engineering, Materials Engineering, Electronic Engineering, Optical Engineering, and nanotechnology, especially development of the technologies to solve resource and environmental problems, such as natural/renewable energy production and high-efficiency energy utilization	Applied Mechanics Materials Engineering and Chemistry	
6	Materials Process Engineering: Chemical Systems Engineering Materials process engineering, especially development and structural control of functional materials including particles, fibers and porous materials. Development of food products based on materials process engineering	Materials Engineering and Chemistry	
7	Process Control and Process Systems Engineering: Chemical Systems Engineering Research on process synthesis, optimal design and operation of processes, process control/monitoring/data analysis, and optimal design and operation of micro chemical plants	Applied Mechanics Materials Engineering and Chemistry	
8	Environmental Process Engineering: Chemical Systems Engineering Environmental Process Engineering, Micro Chemical Operation, and Environmental Reaction Engineering, especially development of new conversion methods for biomass, development, design and operation of microreactors, degradation behavior analysis of biodegradable plastics	Materials Engineering and Chemistry	
10	Environment and Safety Engineering: Chemical Systems Engineering Environment and Safety Engineering, and Low Rank Resource Conversion Engineering, especially research on the development of safe and effective use of low rank resources including waste materials, and development of process to reduce CO <sub>2</sub> emission	Materials Engineering and Chemistry	
11	Dynamic Interfacial Chemistry: Chemical Engineering Fundamentals Research on interfacial phenomena induced by non-equilibrium, such as sound, liquid flows, and magnetic fields. Research on surface forces and the fabrication of functional thin films.	Materials Engineering and Chemistry	
12	Transport Phenomena: Chemical Engineering Fundamentals Research on transport phenomena pertaining to mass, energy, and information flows, with a particular emphasis on elucidating the collective motion of active matter, the energetics of molecular motors, and synthetic biology of artificial cells and multicellular tissues.	Applied Mechanics Materials Engineering and Chemistry	

For the details of researches, visit our website ([https://www.ch.t.kyoto-u.ac.jp/en/?set\\_language=en](https://www.ch.t.kyoto-u.ac.jp/en/?set_language=en)).

## II. Enrollment capacity

October 2025 Admission:

Department of Chemical Engineering: A few

April 2026 Admission:

Department of Chemical Engineering: 7 people

\*Choose their admission date from October 2025 or April 2026 . Such applicants must consult with their prospective supervisor in advance to decide the admission time since it cannot be changed once their application accepted. They must choose October 2025 Admission or April 2026 Admission on the Kyoto University Online Application.

## III. Eligibility requirements for applicants

Refer to Part A “II-i. Eligibility” of the Guidelines for applicants.

## IV. Examination Schedule

General Selection(Include Special Selection of Career-Track Working Students):

Monday, August 4	10:00 AM to 12:00 AM English	1:00 PM to 4:00 PM Chemical Engineering
Tuesday, August 5	From 9:00 AM Presentation of research progress/plan and oral examination	

## V. Details of entrance examinations

(1) General Selection(Include Special Selection of Career-Track Working Students):

[English] (100 points)

Reading comprehension, translation of Japanese to English and English to Japanese. Applicants are allowed to use Japanese-English and English-Japanese dictionaries. International students are allowed to use a native language-English dictionary and a native language-Japanese dictionary.

Applicants are permitted to use an electronic dictionary only if it has no translation function. Applicants may be exempted from the English examination depending on the results from a TOEIC or TOEFL test, etc.

[Chemical Engineering] (200 points)

Applicants must select two from six subjects of Mathematics, Physical Chemistry, Reaction Engineering, Transport Phenomena, Unit Operation, and Process Systems Engineering, Process Control and answer the given questions for the selected subjects. The coverage of examination for Mathematics includes calculus, linear algebra, ordinary differential equations, vector analysis, complex analysis, and partial differential equations. Applicants may be exempted from examination for the above specialized subjects depending on the document screening results.

[Presentation of research progress/research plan and oral examination] (300 points)

Applicants are required to give a presentation on the details of the Master's dissertation or the details of research progress and future prospects about research for 20 minutes and take oral examination on the content of the presentation and basic academic skills for about 10 minutes.

(2)

Qualified applicants and how to decide successful applicants:

In both General Selection and Special Selection of Career-Track Working Students, applicants who scored at least 60% of the total points allotted are considered qualified applicants. Successful applicants are screened among the qualified applicants based on their scores (total score/total points allotted). If applicants are exempted from examination for English or Chemical Engineering, the points allotted for the examination will be subtracted from the total points allotted.

## VI. Application procedure for admission

(1) Selection of course program and research area of choice after enrollment:

Applicants must refer to VII. and VIII. to select the course program and research area of their choice by priority order on the information entry screen of Internet Application System.

To apply for this department, the applicants must keep a close contact with the prospective supervisors for the research areas of their choice and obtain their agreement on the integrated course program that the applicants wish to enroll and the research plans in advance.

For the details of researches, visit our website (<http://www.ch.t.kyoto-u.ac.jp/ja>).

(2) Prior contact:

In the prior contact, the prospective supervisor will judge whether or not there is consistency between the applicant's desired content of study and the prospective supervisor's research activities. Furthermore, to facilitate study and research activities after admission to the doctoral course, the research plan will be clarified before application through discussions between the applicant and the prospective supervisor.

(3) Presentation guidance:

Applicants are not precluded from receiving presentation guidance for the oral examination from the prospective supervisor. In the presentation guidance, the applicant will be instructed to make sure that the research plan that the applicant is going to explain in the oral examination matches the content that was confirmed in the prior contact.

(4) Selection of specialized subjects in Chemical Engineering:

Applicants must select two specialized subjects in Chemical Engineering on the information entry screen of Internet Application System.

(5) Submission of the official score certificate/report of TOEIC or TOEFL, etc.

(for applicants who apply for exemption from the English examination):

Applicants must submit the "Official Score Certificate" (not a photocopy but the original certificate) or "Digital Official Score Certificate" (a printed one) of TOEIC or "Test Taker Score Report" of TOEFL\*, or an official certificate of other tests (a copy or score report printed by the examinee is not acceptable) to A Cluster Office, Graduate Student Section, Katsura Campus. TOEFL My Best Score is not acceptable.

Applicants must submit the necessary document with a sufficient time margin (before submitting the application for admission) because it takes time to judge whether to give exemption.

\* including iBT Special Home Edition

## **VII. Selecting your course after enrollment**

Three course programs are provided for successful applicants after the enrollment in the Doctoral program. Successful applicants for this Department can take following courses.

- (a) Interdisciplinary Engineering Course of Integrated Course Program: Applied Mechanics
- (b) Interdisciplinary Engineering Course of Integrated Course Program: Materials Engineering and Chemistry
- (c) Advanced Engineering Course of Integrated Course Program: Department of Chemical Engineering

Successful applicants' course assignment is determined based on their preference and entrance examination results.

For the details, refer to "I. Preferred Research Area." For the details of course programs, refer to the website (<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/graduate/dosj69>) and "VIII. Course details" in the next section.

To select research areas in the Integrated Course Program, the applicants must keep close contact with the prospective supervisors for the research areas of their choice in advance as mentioned in VI (1). If applicants are not sure who is their supervisors or have any other questions, they must contact the entrance examination staff specified in "IX. Other."

## **VIII. Course Details (Advanced Engineering Course)**

Chemical Engineering is the basic engineering to respond to various demands so that the results from basic science can bear fruit in production activities and social welfare more quickly in an environmentally-friendly manner. In the Advanced Engineering Course, students will gain a high level of expertise, ability to think flexibly, and active imagination by receiving practical training for them to play an active role independently as a highly-educated researcher or professional engineer with great personality. Specifically, the students are required to select research themes, and plan, do, and present their researches as independently as possible and are guided to perform creative researches that can be highly regarded worldwide at all times. The students are provided with many opportunities to conduct joint researches with other departments, graduate schools, and overseas research institutions so that they can acquire abilities and skills such as



cooperativeness, making suggestions/proposals, presentation skill, and internationalism. The students are also required not only to serve as a teaching assistant but also to guide special research students in undergraduate programs so that they can acquire abilities necessary to become a great research supervisor. Through these, this course aims to train researchers who have a high level of abilities to accomplish their research goals, play active roles internationally, and create a base for new chemical engineering and leaders who are able to manage researches.

#### **IX. Other**

- For the examination of Chemical Engineering, a calculator is loaned to each applicant during the examination.
- For the presentation of research results/plan and oral examination, each applicant must summarize the contents into four pages of A-4 size paper (double-side printed) (essay style, including figures and charts), prepare 11 copies of the document, and distribute the copies in the venue on the day of examination. Each applicant must use an LCD projector to give a presentation, whereas he/she must bring his/her own PC to be used in the presentation.

#### **Venue:**

The examinations are conducted in Katsura Campus.

The venue will be notified to applicants by this Department no later than a week before the day of examination.

#### **Mobile phones:**

Mobile phone must be turned off, put in bags, and placed at a specified place. Mobile phones must not be used even as watches during the examination. If it is found that any of applicants has a communication device such as a mobile phone in hand during the examination, it may be considered a misconduct. Applicants must bring watches (without communication function) on their own.

#### **Contact for general inquires:**

Kyoto University Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto 615-8510  
A Cluster Office, Graduate Student Section, Katsura Campus,  
Kyoto Univ. (Department of Chemical Engineering)  
Phone: +81-75-383-2077  
E-Mail: 090kakyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp  
Reference: <http://www.ch.t.kyoto-u.ac.jp/ja>